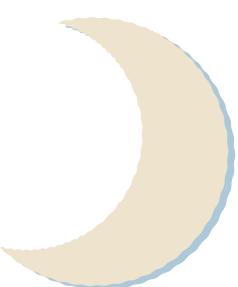


「深夜はいかい」は非行の入口です。
保護者だけではなく、県民が一体となつて青少年を温かく見守り
非行防止に取り組みましょう。

青少年の「深夜はいかい」をやめさせましょう



「深夜はいかい」は非行の入口です。

昼夜間に比べ、暗くて人通りも少ない深夜は、事件・事故に巻き込まれる可能性が高くなります。実際に県内で夜間、暴走族を見ていた生徒や塾帰りの生徒が被害者となる暴行事件などが起こっています。

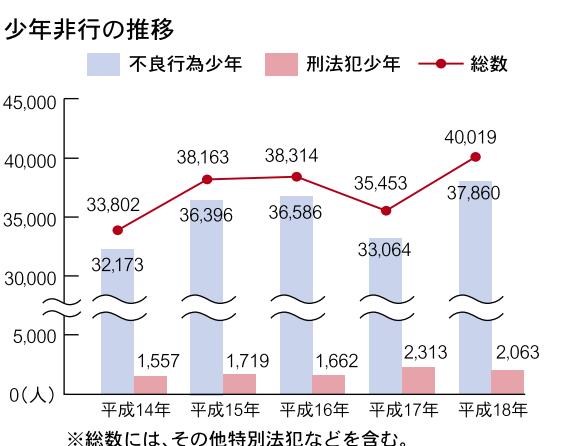
深夜はいかいをすると、朝起きられず学校に遅刻したり、休んだりすることが増えてきます。そのため、だんだん授業についていけなくなり、学校がつまらなく感じるようになります。また、親に叱られ、学校や家庭に居場所がなくなり、ほかの居場所が欲しくなり、さらに深夜はいかいを繰り返すという悪循環に陥ります。



昨年、県内で不良行為（深夜はいかい、飲酒、喫煙など）により補導された少年は、三万七千八百六十人、刑法犯を含めると四万人を超えて、過去最高となっています。

不良行為のなかでも、深夜はいかいで補導された少年は約一万八千六百人で、補導総数の約半数を占めています。

深夜非行の現状



夏休みは要注意！

夏休みには開放感から深夜はいかいが増え、補導総数も通常の約二倍程度になります。少年が悪の道へ迷い込まないためにも地域社会が一体となって誘惑に負けない、強い心を持つた少年を育てましょう。

深夜はいかいを防止するために

周りの大人の皆さんへ

本県の場合、少年の深夜はいかいの主な原因是「夜更かし社会」にあると言われています。大人が模範を示し、夜更かし社会を改善しましょう。また、周りの子どもへ関心を持ち、深夜はいかいを見かけたらまずは声をかけ、話を聞いてみましょう。

子供たちへ

学校や塾、習いごとをおわったたら寄り道しないでまっすぐ帰ろう。家人の人と、外出や帰宅時間について約束ごとを決めよう。子育てについて悩みや不安を持っている方はヤングテレフォン（電話相談）にお気軽にご相談ください。誘われても断る勇気を持とう。

保護者の方へ

親子の対話はありますか？家庭での親と子のふれあいが少ないと、親が自分の子どもの深夜はいかいを知らなかったり、黙認したりする場合があります。

まず、家庭において、やつていいこと、悪いことの区別や社会のルールを守ることなどについて幼児期からしつかりしつけましょう。子育てについて悩みや不安を持つている方はヤングテレフォン（電話相談）にお気軽にご相談ください。

全国非行防止大会沖縄大会の開催

みんなでちゅらひとづくり 聞こう・話そう! 子どもたちと!

平成19年
7/20 金
13時～18時30分
(開場12時)

第1部 全国非行防止大会沖縄大会

●開催場所 沖縄県立武道館 ●時間 13時～17時

オープニングアトラクション

演舞～那覇市青少年舞台ワークショップ～
空手演舞～県立首里高等学校空手部～

基調講演「夢は逃げていかない」 ヤンキー先生こと 義家弘介氏

対談「感動体験・夢舞台～地域で育つ ちゅら心」

パネリスト:平田大一氏 コーディネーター:吉田文子氏

スペシャルアトラクション

現代版組踊 肝高の阿麻和利
「琉球浪漫～きむたかの風 海を渡り」 など

第2部 非行防止街頭キャンペーン

●開催場所 県民広場・パレットくもじ前広場

●時間 17時30分～18時30分

アトラクション

郷土芸能祭～琉楽座～

事務局

全国非行防止大会沖縄大会実行委員会事務局(県青少年・児童家庭課内)

TEL 098-866-2174

お問い合わせ ●県警察本部少年課 TEL:098-862-0110 <http://www.police.pref.okinawa.jp/>



毎月第3金曜日・土曜日は、
「おきなわ食材の日」です。



ついでサンサン
食べたらがんじゅう沖縄産!